

## ライブハウスというよりは、小さな音楽ホール THEGLEE @神楽坂

今回は、東京 神楽坂にある THEGLEE さんにお邪魔して、プロディーサーの中村正美さんにお話を伺った。中に入ると、こはライブハウスかと思ったほどでした。

●：(編集部) 初めまして、本日はよろしく  
お願いいたします。

(N：THEGLEE 中村正美さん) ようこそい  
らっしゃいました。

●：プロデューサーという肩書ですが

N：はい。私自身が作曲することもありま  
すが、海外のレーベルでプロデューサー  
をしまして、音楽制作が本業なんで  
す。ここではライブだけでなく、レコー  
ディングもしています。

●：こちらに入った時から良い意味での違  
和感があって、単なるライブハウスで  
はないなと感じていました。ライブハウス  
というより、小さなホールに入ったよう  
な感じです。落ちつくし、ちょっと凛と  
した感じになりました。

N：おっしゃる通り、小さな音楽ホールで  
すね。

●：どんな演奏会が多いんですか？

N：ジャンルは、クラシック、ジャズ、ポッ  
プスなど色々ですね。生楽器の演奏会が  
多いんですけど、アイドルグループがラ  
イブやったこともありますよ。そういえ  
ば、会場を真っ暗にして、大音量で音楽  
を聴く、という変わったイベントもあり  
ました。もちろん、コロナ前ですけどね。

●：意外と守備範囲が広いですね。

N：はい、Any ジャンル OK です！

●：ところで、神楽坂というと高級料亭と  
かのイメージが強く、気軽に音楽を聴

きに来るには、少し敷居が高い気がした  
のですが。

N：このライブハウスを作った以前のオー  
ナーが京都の出身でして、神楽坂に残る  
日本の古い良さと静けさが気に入って、  
こんなロケーションで良い音楽を良い音  
で聴けるように、とここにしたそうです。

●：なるほど、そのお話からもこだわりを  
感じますね。

N：はい、良い音には真剣にこだわりました。  
日東紡音響エンジニアリング(現：日本  
音響エンジニアリング)さんに設計・施  
工していただいたのですが、良い音以前  
に、まず周囲への影響が心配でした。実は、  
ここの上のフロアが「虎白」という  
ミシュランの星も獲得している有名な割  
烹なんです。そちらに迷惑をかけられ  
ないので、徹底的な音漏れの対策をお願  
いしました。おかげで、大音量で音楽を  
鳴らしても全く聴こえず、ホッとした思  
い出があります。

●：それ、ドキドキしますね。

N：はい。それと、日東紡音響さんにお願  
いしたのは、「スタジオ並みの音響特性」  
です。

●：ここは、ライブハウスですよ？

N：そうなんです。「ここでレコーディン  
グもする」と最初から決めていたので、  
遮音性と残響特性については、最大限こ  
だわらせていただきました。

●：なるほど。それで、「小さな音楽ホール」  
のようになったんですね。

N：はい。それもクラシックだけでなく、  
他のジャンルでも対応できるように検討  
しました。長い残響時間はクラシックに

は良いのですが、ジャズやポップスには  
適さないで、サイドと後ろ側に拡散材  
を配置して、残響時間を調整しています。  
音響シミュレーションと測定を何度もし  
ていただき、おかげで最高の音場になっ  
たと感じています。

●：Any ジャンル OK ですね。

N：はい(笑) そういえば、以前浄瑠璃の  
演者さんが仰っていたのですが、ここは  
すごく声が出しやすいそうです。キャパ  
シティの面もありますが、適度に声か  
反射するので、無理に声を出さなくても  
きれいに響くのが良いと好評でした。他  
のジャンルでも同じように感じていただ  
けると思います。

●：歌っている方も気持ち良いでしょうね。  
ここで、浄瑠璃を上演されたのですか？

N：そうです。場所柄ですかね、邦楽の演  
奏会もよく行われていますよ。最近は音  
楽だけでなく、ビジネスシーンでも使わ  
れているんです。天井にプロジェクター  
があり、ステージの後ろのカーテンを開  
けるとスクリーンになっていますので、  
そちらに資料を映して、プレゼンでき  
るようになってます。もちろん同時配信  
もできます。

●：スタジオ仕様の音場ですから、良いプ  
レゼンができますね。思いつきですが、  
ここでオーディオ機器の発表会とか良く  
ないですか？

N：それは、実際にいくつかのメーカーさん  
が利用されました。

●：これだけの空間ですから、機器の選定  
にもこだわられたのでしょうか。

N：もちろんです！メインのスピーカはダ



イナコードの製品を選びました。3 機種の候補があってどれも良かったのですが、特にダイナコードがこの空間に馴染む音に感じました。演奏者のモニタースピーカもダイナコードです。

●：レコーディング周りはいかがでしょうか。

N：調整室に DAW がありますが、Studio ONE を使っています。ステージと調整室は光ファイバーでつなぎ、MADI システムを構築しました。32 ビット 192KHz のハイレゾ録音が可能です。コンバータは RME です。Dolby Atmos にも対応可能ですよ。

●：それは充実していますね。

N：映像については、4K カメラ 4 台と HD 3 台、計 7 台を常設しています。

最近、ライブ・レコーディング・配信をパッケージでご利用される方も多くなってきました。オンラインチケットの販売もこちらで手配できますので、まとめとお得です。

●：至れり尽くせりですね。

N：そうですね。今どきの「演奏会」を催すにあたっては、必要なものが多くて複雑ですが、ハード・ソフトの両面から演奏者のお力になれるよう環境を整えていますので、何でもご相談いただきたいと思います。



●：ご自慢のピアノをご紹介いただけますか。

N：はい、こちらですね。

●：すごく優しい音ですね。こんなピアノの音、聴いたことなかったです。

N：NY スタンウェイの 1925 年製です。もう少しで 100 歳になりますね。

日本ではドイツ製のスタンウェイが主流ですが、元々スタンウェイは NY でした。特に 20 年代までのピアノが最高のものと言われています。フレームの鉄が違わんですね。今ではその鉄が作られていなくて、当時のものは再現できないそうです。木もドイツ製のピアノはブナですが、こちらはメープルでできています。

●：自分がイメージするスタンウェイの音とかなり違うように感じました。穏やかで、この空間にはこのピアノが本当によく合っています。次回はお酒を飲みながら、ゆったりとこのピアノを聴きに伺いたいと思います。

N：是非、お越しください。

●：本日はありがとうございました。

神楽坂 THEGLEE 情報

HP <http://theglee.jp/>



お問い合わせ

<http://theglee.jp/contact/>



編集部より 今回、FDI 読者限定でご利用料金が割引になります！(2022 年 3 月末お問い合わせ分まで)「お問い合わせ内容」欄に【FDI】と入力してから、お問い合わせ内容をご記入ください。「ライブや配信だけでなく、ロケ等でもお気軽にご利用ください」とのことでした。

機材リスト (下記以外の機器についてはホームページを参照)

楽器機材	Piano	N.Y. STEINWAY B-211- 1925 Vintage × 1
音響機材	ミキサー	Roland M-480 × 1
	ステージボックス	Roland S-4000S-3208 × 1
	スプリッタ	Roland S-4000D × 1
	キューボックス	Roland M-48 × 4
	メインスピーカ	Dynacord VL122 BiAMP Model × 1pair
	モニタースピーカ	Dynacord D-8 × 6
	メインパワーアンプ	Dynacord Power H5000 × 2ch
映像機材	DLP/Hi プロジェクタ	Panasonic PT-DW730LS × 1

録画機材	ハイスペック 4K ビデオカメラ	Panasonic HC-X2000 × 1
	業務用 4K カムコーダビデオカメラ	Panasonic AG-UX180 × 1
	スイッチャ	Blackmagic Design
		ATEM Television Studio Pro 4K × 1
	キャプチャーカード	Blackmagic Design
		DeckLink Studio 4K × 1
	レコーダ	SONY PMW-EX30 × 1
録音機材	MADI system	RME OctaMic XTC × 2
	マスターレコーダ	TASCAM DA-3000 × 1
	吊りマイク	DPA 4006 stereo pair
	ノイズカットトランス	NCT-F6 型単相三線 2KVA × 2
配信環境	Nuro 専用高速回線 下り最大 2Gbps/ 上り最大 1Gbps 1 回線	
	ソフト/PC レコーディング用ソフト Studio One 5 Professional × 1	